

【会議録】

会 議 名	第1回港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年2月1日（水曜）午後1時～午後2時
開 催 場 所	Teamsによるオンライン会議
委 員 員	出席者 7人 小笠原委員、秋吉委員、水上委員、師岡委員、星川委員、 増田委員、小笹委員
事 務 局	教育推進部教育長室長 佐藤 教育長室教育総務係長 本城 教育長室教育総務係員 刀坂 教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 竹村 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係長 須川 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係員 本間
会 議 次 第	1 開会・挨拶 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 委員長選出 5 議題 議題1 公募要項（案）について 議題2 第1次及び第2次審査基準(案)について 6 今後のスケジュール 7 閉会
配 付 資 料	資料1 港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項（案） 資料4 公募要項【様式集】 資料5 業務基準書一式 資料6 指定管理者候補者選考基準 第一次審査採点表(案) 資料7 指定管理者候補者選考基準 第二次審査採点表(案) 資料8 指定管理者候補者の選考方法(案) 資料9 今後のスケジュール
主要な意見等	
	1 開会 (教育委員会事務局教育推進部長による開会の挨拶)

	<p>2 委員委嘱 (事務局から委嘱状の送付等について説明)</p> <p>3 委員の紹介 (各委員の自己紹介)</p> <p>4 委員長選出</p>
事務局	委員長は要項第5条第2項の規定により委員の互選で選出します。
C委員	小笠原委員を推薦します。 (委員一同、異議なし)
事務局	副委員長は要項第5条第3項の規定により教育委員会事務局教育推進部長となります。
	<p>5 議題</p> <p>議題1 公募要項(案)について</p> <p>議題2 第1次及び第2次審査基準(案)について</p>
委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。
F委員	資料6第1次審査選考基準の中で、省エネに関する評価項目があれば教えてください。
事務局	資料6の2管理運営体制(5)環境に配慮した施設運営の取組の項目として省エネの視点を入れております。
C委員	説明会で来られた事業者からの質問内容は、事前に委員へお伝えいただけるということによろしいか。
事務局	1次審査をしていただく応募書類と一緒に送りいたします。
C委員	資料6第1次審査選考基準の一番右にコメント欄があるが、委員が記載した内容は応募した候補者に意見として伝えられるのでしょうか。
事務局	応募者に伝えるものではなく、最終的な報告書の中で決め手になったキ

C委員	<p>ーワードとして参考にさせていただきます。</p> <p>港区は多様な国籍を持った方が居住しているので、ダイバーシティへの配慮が必要だと考えます。また、教員の働き方改革により、部活動は地域に移行する方向であるため、運動したい子どもたちの受け皿として、区立の拠点的な施設が果たす使命が大事になってくると思います。そのような点を配慮して点数が高くなっていることも大事だと思います。</p> <p>I C Tの活用で新しさが出てくることが必要と考えます。各事業者から、どのように提案が盛り込まれるか注視したいと思います。</p>
A委員	<p>非常に重要な指摘をしてくださったと思います。選考委員が審査をするときの共通認識でまとめさせていただくと有難いと思います。</p>
D委員	<p>C委員にご指摘いただいた多様性の問題は非常に大事で、国の第3期スポーツ基本計画の中でも、多様な人達がスポーツを楽しめるような環境をつくることを重点項目としています。採点表の3（5）障害者スポーツの環境づくりとありますが、障害者だけではなく港区は外国人人口も多いので、多世代の人達や、部活動の地域移行となったときの様々な年齢層、国籍の多様な人への配慮を、項目として挙げておく必要があると思います。</p> <p>あと、港区内に本社や営業所があることで優遇されるようなことがあれば教えてください。</p>
事務局	<p>多様性の部分は港区ならではのスポーツ施設の運営ができるようにという意識を持ちながら、提案を受けたいと思っております。</p> <p>部活動に関しては、区立小中学校で外部指導員を取り入れていくような話があることから、ユーススポーツへの配慮という課題はありますけれども、スポーツセンターが担う役割の部分と学校が担う役割の部分と並行して、スポーツ文化という意味でどういった運営ができるか意識を共有したいと思っております。</p> <p>区内事業者については、資料6の4（1）区内中小事業者や区民雇用として、区と寄り添った経営をしているところに関して配点をするような仕組みとなっております。</p>
B委員	<p>資料6の1（1）類似施設の運営実績について、事務局の採点基準が設けられていますが、これは今までの指定管理者の代表団体の経験があることに限らず、共同事業体の構成団体であったことの実績もカウントするというのでしょうか。</p>

事務局	共同事業体の構成団体としての実績も1つの事業者としての実績という捉え方をしており、経験値があるという意味でカウントにしています。
B委員	P F I とか他の形でも経験値としてカウントするということでしょうか。
事務局	経験値として捉えたいと思っております。
B委員	ありがとうございます。あと、私も多様性の部分が気になっておりました。
委員長	その他、ご意見等がなければ、公募要項、第1次審査表、第2次審査表について、他に修正事項がなければ原案のとおりとさせていただきます。
	6 今後のスケジュール
	7 閉会

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。

【会議録】

会 議 名	第2回港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年6月14日（水）午後5時～午後7時
開 催 場 所	T e a m s によるオンライン会議
委 員	出席者 6人 小笠原委員、水上委員、師岡委員、長谷川委員、金田委員、宮本委員 欠席者 1人 秋吉委員
事 務 局	教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 竹村 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係長 須川 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ環境整備担当係長 西 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係員 本間・池田
そ の 他	坂本亮公認会計士事務所 坂本 亮 公認会計士
会 議 次 第	1 開会・挨拶 2 議題 （1）応募事業者財務状況分析と資金計画分析について （2）第1次審査採点表集計結果について （3）第1次審査通過団体の決定について 3 第2次審査について 4 今後のスケジュール 5 閉会
配 付 資 料	次第 資料1 財務状況等分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第1次審査結果表集計表 資料4 第2次審査選考基準・採点表 資料5 第2次審査の選考方法について 資料6 委員名簿 資料7 第1回港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会会議録 参考資料 公募要項 応募書類一式
会議の結果及び主要な発言	
（発言者）	1 開会・委員の紹介 （事務局の進行により開会） （事務局から委員の変更について説明）

公認会計士

2 議題

議題1 応募事業者財務状況分析と資金計画分析について

(1) 財務状況等分析結果

A事業者		可否判断
共同事業体	A-1事業者	可
	A-2事業者	可
	A-3事業者	可

(2) 資金計画分析結果

事業者	総合評価
A事業者	A

財務状況分析結果は3者とも「可」です。

A-3事業者は、純資産規模が大変大きく非常に優れた財務状況でしたので高く評価しています。A-1事業者は、A-3事業者と比較すると見劣りするように見えますが、一般的な水準からすると非常に安定的な財務状況であり、収益性も高いです。

一方、A-2事業者は、純資産がマイナスになっているため、債務超過といわれる状況で直近の経営利益がマイナス3億円あり、評価は「可」ぎりぎりの評価となっています。一般的な企業であれば非常に厳しい状況ですが、親会社がA-1事業者に匹敵するような財務基盤があるうえに100%子会社でもあるため、指定管理期間中は、安定的な運転資金の調達が可能という念書も提出されていることから、保証はある程度されていると考えますが、財務状況については注意が必要です。

共同事業体での資金計画を評価しました。総合評価は特に優れている「A」です。

①資金・収支計画の正確性、安全性や②収支見込み妥当性、③運転資金調達の確立性については特段問題ありません。④事業計画の整合性は過去実績等を踏まえて大きな不整合等は見受けられず、⑥人件費は一般的な水準から比べても金額単価等で不合理はありません。⑤経費見積りの妥当性については問題がある訳ではありませんが、留意事項を記載しました。

委員長

ただいまの報告について、ご意見・ご質問はありますか。

E委員

資金収支計画の「その他経費」の算出方法について、これまでの実績と比較すると高くなっており、全体経費に対する割合が20%近くになっているが、一般的に順当な比率なのでしょうか。

公認会計士

構成団体も含み、運営事業者の人件費やその他の経費というものが入っているという認識です。運営方法やどのような施設かによっても割合は変わりますが、「その他経費」に入る割合は、概ね相対経費に関して私がみる範囲では、多くて10%位までとなっていることが多いです。「その他経費」の部分が不当かどうかの判断

	<p>は難しいですが、印象としては少し高めです。本部経費については、積上げで算出してもらうことがあっても良いと考えます。</p>
A委員 公認会計士	<p>本部人員に係る人件費等が乗っかっていると考えていいでしょうか。</p>
A委員 公認会計士	<p>おっしゃる通りです。</p> <p>「その他経費」の積算方法がパーセンテージであるため、わかりにくいので応募事業者から我々が納得できる説明が必要であるということでもよろしいでしょうか</p> <p>おっしゃる通りです。その説明を求めた方がよろしいのではないのでしょうか。</p> <p>細かくお話しすると、特に本部人件費を「その他経費」へ計上するにあたって具体的な金額を積み上げるのではなく、本部で掛かる管理費を会社全体の管理費比率の実績から算定したパーセンテージを指定管理施設の人件費に掛けるという計算方法で算出しています。計算方法が不合理であるとまでは言い切ることはできませんし、事務の都合上ある程度の概算で出さざるを得ないということも理解できるものの、結果として「その他経費」の割合が大きいということも考えると見積金額が妥当であるということについてもう少し説明があっても良いと感じたということです。</p>
A委員 公認会計士	<p>決して不自然なことではありませんが、その説明を委員が納得いく形で回答が得られれば良いということですね。</p>
G委員 公認会計士	<p>はい。事業者からの説明が納得でき合理性もあるのであれば、事業者として実際に掛かるべき費用と考えているということです。</p> <p>資金収支計画でスポーツセンターなどは、直近実績金額を下回った金額による提案となっている部分があります。この経費や積み上げ方が妥当であるという補足はありますか。</p> <p>おっしゃる通りで、特に人件費に関しては金額が全体的に直近実績よりもやや下がり気味の提案となっています。計算間違いや常勤職員数が極端に減っている訳でもありませんので、恐らく直近はコロナが明けて急に人が必要になり、突発的に費用がかかったといった事情があったのかもしれませんが。提案は公募要項に記載されている金額水準に近くなっているが、この人員できちんと運営できるかをヒアリングで確認するのは、非常に有用であると思います。</p>
A委員 委員長	<p>資金収支計画の金額についての妥当性については、検討した方がいい気がします。</p> <p>ほかに質問はありますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>(公認会計士、退室)</p>
委員長 委員長	<p>財務状況分析と資金計画分析の評価を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同、異議なし)</p> <p>財務分析等の評価を決定します。</p>
委員長	<p>議題2 第1次審査採点表集計結果について</p>

事務局	<p>事務局から類似施設の管理運営実績及び施設長予定者の勤務実績の評価について説明してください。</p> <p>応募事業者Aについて類似施設の管理運営実績が22施設でしたので5点、施設長予定者の勤務実績は勤務通算年数が22年あり、施設長としては13年半実績がありましたので5点としました。</p> <p>第1次審査集計結果については、委員7人の合計点が1,090点となりました。</p>
委員長	事務局採点について、何かご意見はありますか。
委員長	(委員一同、質問なし)
C委員	各委員から講評をお願いします。
C委員	<p>全体を通して高得点を付けています。概ね審査条件、評価基準に合う提案で、フォローアップもされていると思います。1点、職員の健康管理に関して日常的にチェックする体制を整えていただくため、項番2(2)職員の確保・育成に対する考え方をマイナスしました。</p>
D委員	<p>項番3(4)の多様な人々に対してもスポーツ機会の提供や(5)障害者スポーツの環境づくりと理解の促進に対する具体的な提案は、かなり努力されているので高得点を付けました。また(10)区内にある色々な人材あるいは団体とも連携しながら非常に幅広い目線を持っていること、(12)ICT等による先端技術の活用も具体的な提案がされていたので満点としました。(8)「みる」スポーツについてはメジャーなスポーツだけでなく、地域ローカルなものへの視点や色々な形で見るという視野を広く持っていたいただきたいので4点としました。</p>
F委員	<p>全体を通して施設運営に関する考え方、スポーツ施設の設置基準等を十分に踏まえた提案でした。項番2(7)利用者の安全管理は、事故発生時の体制についてきちんとマニュアルが整備されて指示系統も明確になっていること、救命救急の研修も実施する計画にもなっていることから十分な体制が確保できていると感じています。(8)組織として対応する体制ができています。項番3については、高齢者、障害者、国籍を問わず、誰でも施設が利用できるように配慮がなされています。</p> <p>(3)利用者拡大(4)子供や働き世代などが参加しやすいプログラムの提供は、現状や課題を踏まえた上での提案がされています。全体として区のスポーツ振興施策を踏まえた提案であり、各構成団体の強みを活かして施設を安定的に運営できるのではないかと感じています。</p>
G委員	<p>基本的に充実した提案だと思います。利用者の特性などをよく熟知した自主的な提案であると思い、「優れている」の4点としました。障害者本人の参加はもちろんですが、普及活動や担い手を支えるなど幅広い観点で具体的な提案がありよかったこと、項番3(4)子育てや産後ママ、働きざかり世代という社会課題にもよく対応した充実した提案だと思います。</p>
E委員	<p>全体的に優れた提案だと受け止めています。項番2(2)職員確保・育成に対する</p>

B委員	<p>考え方は、専門性を有する人材の確保や手段（どう育成していくか）がしっかり明示されていました。（４）個人情報、（５）環境配慮においては具体的な提案がされていました。項番３（３）新規利用者拡大のための具体的な提案がされています。</p> <p>（１２）情報発信の視点は不足しているように感じたことからマイナスにしています。（１４）資金収支計画については、人件費が比較的抑え気味になっている一方で、本部経費の比率が高いということ。このことはいかがなものかと感じています。</p> <p>項番２「管理運営体制」（６）地震・防災等、危機管理への取組や区民避難所の管理運営体制及び運営支援に関する基本的な考え方については、すでに区が定める危機管理マニュアルに沿った緊急対応マニュアルが整備されている点と他施設と横展開ができる点は強みであるため１０点と高く評価しました。また、項番３（１２）ＩＣＴ等による先端技術を活用したスポーツ活動の推進、各種情報発信・情報提供に関する考え方と具体的な提案については、多様な実績がある点が評価に値すると思いい８点の評価をしました。</p>
A委員	<p>指定管理者制度をよく存じている事業者が出してきたという印象です。書き方、入れ方、刺さる言葉、見せ方が抑えられて、きちんと作られた内容になっていると感じています、項番３についても全て網羅されていて、それぞれの流行も取り込まれており全体として非常によく書かれた内容であり、非常にレベルの高い港区への提案になっていると感じ取っています。</p>
委員長	<p>項番３（５）障害者スポーツの環境づくりと理解の促進に対する具体的な提案について３段階の差がありますので、各委員から評価をお願いします。</p>
C委員	<p>環境条件は十分に整備されていると思います。多様な障害者全てに対応するとなると施設支援や人的資源をフルに展開する必要があり、相当な資源を施設に投入しなければならないと思いますので、現状の条件を促進してほしいということで評価しました。</p>
D委員	<p>現状を考えて実現可能と考え、できる限りの計画は記されているという認識です。4点としています。</p>
A委員	<p>全ての点を網羅していることを普通と捉えており大きな評価はしていません。</p>
B委員	<p>項番３（５）については障害者スポーツへの理解に関する取組は報告されていますが、障害者の方々がスポーツをしやすいようにする取組については物足りなさを感じたため、4点としました。</p>
委員長	<p>差があったところに関しては、それぞれの理由があるということで訂正すべき内容ではないと感じていますが、よろしいでしょうか。</p> <p>（委員一同、異議なし）</p>
委員長	<p>議題３ 第１次審査通過団体の決定について</p>

	<p>応募事業者財務状況分析等及び第1次審査採点表集計結果に基づき「応募事業者A」を第1次審査通過者とし、第2次審査を実施してよろしいでしょうか。 (委員一同、異議なし)</p>
事務局	<p>3 第2次審査について 事務局から資料4及び資料5について説明 (委員一同、異議なし)</p>
事務局	<p>4 今後のスケジュール 事務局から今後のスケジュールについて説明</p>
C委員	<p>一言よろしいでしょうか。選考委員会としては、複数者の応募があったうえで選考するのが望ましいと思います。今回、応募事業者が1者だけというのは、課題であるということを委員会内で共有しておく必要があります。</p>
委員	<p>応募事業者が1者だったことは、結果として受け止めなければいけません。次回(5年後)は、複数の事業者が申請を出してくるよう条件や働きかけ、募集の仕方を今後検討する必要があると思います。</p>
	<p>5 閉会</p>

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。

【会議録】

会 議 名	第3回港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年6月28日（水）午後6時～午後8時
開 催 場 所	港区役所9階 研修室
委 員	出席者 7人 小笠原委員、秋吉委員、水上委員、師岡委員、長谷川委員、 金田委員、宮本委員
事 務 局	教育推進部生涯学習スポーツ振興課長 竹村 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係長 須川 教育推進部生涯学習スポーツ振興課スポーツ振興係員 本間・池田
会 議 次 第	1 開会 2 議題 議題1 第2次審査の実施について （1）応募事業者プレゼンテーション （2）質疑応答 議題2 第2次審査採点表集計結果について 議題3 港区立スポーツ施設指定管理者候補者の決定について 3 その他 4 閉会
配 付 資 料	次第 資料1 第2次審査のタイムスケジュール 資料2 第2次審査選考基準・採点表 資料3 第1次審査選考基準・採点表 資料4 第2回港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会会議録 資料5 第1次及び第2次審査選考結果集計表（集計後配付）
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開会 2 議題1 第2次審査の実施について （1）応募事業者プレゼンテーション（10分） はじめに、プレゼンテーションを10分間行っていただきます。 それではプレゼンテーションを始めてください。
委員長	（A事業者がプレゼンテーションを実施） プレゼンテーションを終了します。ありがとうございました。これより、 各委員からの質疑を行います。

B委員	<p>(2) 質疑応答 (30分程度)</p> <p>2点質問します。1点目は、多様性についてどのような考えであるかということ、それに対してどのように具体的に取り組む予定でしょうか。2点目は、皆様が指定管理者に選定された際に、他の団体と比べての強みはどこかを伺います。</p>
A事業者	<p>1点目について、「する」・「みる」・「支える」スポーツを今回様々な事業を提案しています。その中で多様性ということで、お子様から高齢者、障害者、他国籍の方々が参加できる体験会を考えています。また、障害者スポーツで言いますと、車椅子の方でも使用できるタイプのトレーニングマシンの設置や障害者のスポーツイベントを開催しています。外国人に対しての提案としては、港区には86の大使館がありますので、大使館と連携し、大使館対抗スポーツイベントを年齢に関係なく参加できるように開催したいと考えています。</p> <p>2点目について、まず代表団体である私どもは、民間スポーツクラブで約30年の経験があり、その中で22か所以上の指定管理施設の管理運営も行っています。平成4年に健康増進を強調し、運動療養施設としてオープンし、地域貢献しています。また、指定運動療法施設として医師や保健師と連携し、利用者の健康増進につながるようスポーツ促進に向けた取組をしています。構成団体1については、アスリート事業を得意としています。多くのアスリートを支援しておりイベント活動もありますので、スポーツセンターでもトップアスリートを招き、多くの方がスポーツに触れる・見る機会を作っていきたいと思っています。構成団体2については、施設管理を担っている企業です。民間商業ビルやオフィスだけでなく、港区においても多くの施設で指定管理者としての実績があり、施設管理に関して非常に自信を持っています。中でも港区特定公共賃貸住宅等の指定管理も行っていますので、所管課との協議・調整が必要ですが、居住者へのパンフレット配布や施設へのポスター掲示等による周知を行うことで、健康増進の向上に貢献していきたいと考えています。</p> <p>この3社が共同事業体となり施設運営を行うことで、他社と差別化を図れることが強みです。</p>
C委員	<p>3点質問します。1点目は、港区スポーツ推進計画で掲げている「みんなではぐくむ スポーツ文化都市 みなと」で言うスポーツ文化をどう捉えていますか。2点目は、イベントと体験会は日常の中で消費されてしまう可能性が高いが、このことを運動実施率65%へ繋げる説明をしてほしいです。例えば運動を継続的に実施し活動するためには、教室やクラブなど集団作りへのサポートが必要になる。また、アスリート支援をしているのであれば、アスリートをどう使うか、彼らの持っている資源を使う仕組み</p>

A事業者	<p>を聞かせてください。3点目は、本部経費が増えていて、共同事業体で受託すると委託から再委託先へ事業が流れていくと、その都度本部経費がかさむことが想定されるので私は良いことではないと思っています。大きな事業体であるため仕方がない部分はありますが、区民に納得してもらうには、あまりにも本部経費が大きくなり過ぎていると、十分な説明にならないので、本部経費増加の合理性について説明してください。</p> <p>1点目については、スポーツ文化については、競技＝スポーツだけでなく散歩・歩く・ラジオ体操も体を動かすという大きな括りの中で広くスポーツ活動と捉えています。2点目については、実施率65%と目標を掲げていますが、継続してもらうことが一番大事だと思っています。例えば、スポーツセンターで言いますと利用率が高いトレーニングパークを週1回でも継続利用してもらえるように有酸素系やストレッチ系のトレーニングマシンの更新といった、環境整備を今回提案しています。また、コミュニケーションも非常に大切にしており、運動プログラムを個人に合わせて作り、運動を継続する動機付けにしていくことも行っていきたいと考えています。3点目については、本部経費は質の高い施設の運営等管理を行うためのバックアップ業務として要する費用です。本社における職員への労務管理や決算、施設における会計処理などの事務処理の経費、合わせてサービス業であるため本社の指導部を中心に教育研修を行い、高いスキルを現場で発揮できるように本社として取り組んでいます。施設運営維持費としては、作業調査・検査費用が本社のバックアップ業務として発生しています。算出方法は、一般管理経費を本社経費として、各施設（18施設）と民間施設に按分しています。按分方法は、人件費の大きさを事業規模としており、本社経費で人件費が高ければ案分率が高くなります。決算の総人件費に対する一般管理費の割合は17.8%。一般管理費において、事務管理が9%、運営費が8.8%で、決算の状況の本社経費を各施設の人件費17.8%をかけることによって、一般管理費（＝本部経費）を算出しています。一般管理費は、人や色々な仕組みを入れることにより効率化することによって一般管理費の縮減は会社として取り組んでいかなければいけないと思っています。</p>
D委員	<p>3点質問します。1点目は、車椅子利用者が個人で施設を使いたいと来たら、どう対応されますか。2点目はeスポーツを「みる」ではなく、「する」スポーツにしていく計画はありますか。3点目は、港区スポーツ推進計画では、利用者同士の交流、地域スポーツクラブとの連携は非常に大事になると思います。計画書の中では、地域組織を網羅して書かれているが、貴社が実施しているプログラムと地域を具体的にどう繋げていきますか。</p>
A事業者	<p>1点目については、基本的には一人でできることはやっていただき、必要</p>

な場面でサポートしていきます。今回障害者の方でも利用できるトレーニング器具を購入しますので利用していただき、移乗等のサポートが必要な場合はスタッフがお手伝いします。2点目については、実際、eスポーツは観るスポーツコミュニティであると思いますが、実際に行うスポーツとしても企画・導入していく予定です。3点目については、地域交流としてはスポーツセンターで言いますと健康増進施設の認定を考えています。健康増進センター（ヘルシーナ）や介護予防総合センター（ラクっちゃ）と交流することによって、更に健康が増進する取組を考えています。また、各地区にあります運動場は、身近な人とのコミュニケーションが取れる場所でもあり、また現在3か所にあるスポーカルが活動できる場所として共にイベントができるように企画を考えています。

G委員

3点質問します。1点目は、資金計画と体制について、収支資金の計画が直近の実績を下回っているものがあります。直近がイレギュラーであって、計画は、無理のない体制が生まれ適正な見積もり額ということでしょうか。2点目は、危機管理について様式18では、安全対策マニュアルの構築と提案がなされていたが今日の資料は更新となっている。更新であるならば具体的にどういう内容で、どう担保していくのでしょうか。3点目は、障害者スポーツの理解促進。障害者スポーツとしての認知だけでなく、その先にある「理解」まで繋げるのは難しい。競技だけに止まらず共生社会における具体的な取組や工夫はありますか。

A事業者

1点目については、各施設での常勤職員配置数は現状と同様の配置としています。直近の人件費増加については、新型コロナウイルス感染症対策により業務量が増えたため人件費が増加しました。5類に移行したことから、提案している常勤職員配置数においても質の高いサービス、施設運営を行っていきけると判断しています。2点目については、安全管理マニュアルは既に作成しています。大きな災害等があった場合や社会情勢に合わせた形で随時更新・追加していきます。3点目については、トップアスリートの講演会やイベントで障害者の方も健常者の方も一緒にスポーツができる時間や機会を設けてスポーツを楽しむ理解を深めていきます。

F委員

2点質問します。1点目は、苦情解決のところで、例えば、利用者から直接窓口で受けた苦情やトラブルになったような大きい案件は、資料にある苦情対策委員会で対応するイメージができましたが、業務品質や施設管理モニタリング、本社機能の内部監査などの内部評価や、顧客満足度調査で出てきた課題等については、どのような解決プロセスとなるのか説明してください。2点目は、子ども、高齢者や働き世代への具体的な提案で子どものeスポーツ大会開催について提案があります。しかし、子どもにおい

A事業者	<p>ては、ゲーム依存問題などとも言われていますが、子どもを対象にeスポーツを実施する際の考え方について伺いたいです。</p> <p>1点目については、施設内で苦情対応することが非常に多いが、苦情が起きないことが大切であるため、本社の総務や指導部が苦情のモニタリングした中で、大きなトラブルとなりそうな案件やヒヤリハットの要素を含んだものについて内部監査を行うことが苦情を防ぐことに大きな役割を担っています。2点目については、子どものeスポーツは、ゲーム感覚が非常に強いですが、そのゲームというところから、体を動かしたり、様々な道具を使ったりする運動へ子どもたちを導いていくために、港区スポーツ協会と協力し、子どもたちの運動に繋がるeスポーツを進めていきたいと考えています。</p>
E委員	<p>1点質問します。情報発信の提案でホームページのリニューアルやSNSの効果的な活用と書かれていますが、いずれも自らアクセスしないと情報にたどり着かない側面があります。リピーターは情報を取りにいけますが、ホームページのリニューアルやSNSの効果的な活用だけでは、新規利用者の拡大に繋がるか懸念があるため、どのような工夫で情報発信をしていくのかお聞かせください。</p>
A事業者	<p>ホームページは更新予定です。また、発信だけでなく情報を受取る中でホームページを見た方のユーザー属性やログ解析を行い、対象者を把握することで、そこから年代別のニーズに合った情報発信を行い、またSNSにおいてもLINEビジネスアカウント等を活用しながら施設の情報を提供していきたいと考えています。</p>
A委員	<p>2点質問します。1点目は、先ほど多様性の中でジェンダーについて話がなかったので、どう考えているのかを教えてください。2点目は、ワンランク上の高品質なサービスという言葉が出てきていますが、今とワンランク上の具体例を示してください。</p>
A事業者	<p>1点目については、多くの方が利用する施設であるため、ジェンダーといった方も利用されることを職員に認識を持たせると共に、理解することが必要であると考えています。実際の対応については、様々な研修を行いながら理解を深めていきます。2点目については、顧客満足度の向上に繋げていくことを考えています。利用者が望んでいることを察知し、コミュニケーションを取ることで利用者の情報を得ることができ、情報の中からプラスαで何をすれば喜んでもらえるか、そのプラスαの部分強くしていくことです。</p>
委員長	<p>それでは、A事業者のプレゼンテーション及び質疑を終了いたします。選</p>

	考結果については後日通知いたします。本日はありがとうございました。
	議題2 第2次審査採点表集計結果について
委員長 事務局	まずは事務局から第2次審査の審査票集計結果を報告してください。 A事業者の第2次審査の集計結果は、合計500点です。700点満点中71%の得点となっており、選考の目安とする60%を超えています。
委員長	続いて、各委員から講評をお願いします。良かった点、悪かった点について伺います。
B委員	良かった点は、港区スポーツ推進計画と大きな齟齬はなく、そういうことも踏まえてA事業者を指定管理者として選定しても大きな問題はないと感じている点です。もう少しだった点は、事業体制のテーマとして「再出発、挑戦と創造」を掲げているのであれば、もう少し攻めて欲しかったです。具体的には、スポーツ推進計画と齟齬なく内容を理解されているのであれば、障害者の方がもっと日常的にスポーツを取り組めるような環境を作って欲しかったです。あとは多様性という部分で職員の理解のみだったという点と、スポーツセンター利用者数を増やす数値目標が書かれていましたが、実利用者数ではなく、延べ利用者数を増やし、満足度を上げる方へ力点が置かれていました。もう少し新規利用者（実利用者数）を増やすような取組を強調して欲しかったです。
C委員	施設運営の考え方については、文化としてスポーツの十分な理解が、構成団体のトップマネジメントに深まることの必要性を感じました。事業計画の実現性について、概ね計画通りに実現されていくと考えていますが、イベント体験会へのまなざしが強いと感じています。「公と民」の役割を考えてどんなイベントと体験会が「公」側の役割か十分に検討が必要です。効率的で質の高いサービスの提供については、港区ならではのポテンシャルのあるサービスが提供されると思われ、トップアスリートを存分に活用できることは、地方では実現できそうにない魅力的なものでした。全国に事業モデルを発信できるぐらいの魅力あるサービスを考案してほしいです。施設の安全安心に対する考え方については、日常的なリスクマネジメントはスタッフのコミュニケーションから考えると、対応策は理解できるものでした。事業への意欲については、「再出発」とする共同事業体のテーマは十分なモチベーションと理解できますが、抽象度が高く、やや区民目線ではないと思います。私が2つ目に質問した一般管理費については、効率化し、縮減に取り組んでいくとのことなので、引き続き注視していく必要はあると思います。
D委員	全体的に運営は間違いなくできるだろうと思います。ただ、「再出発」のコ

ンセプトはいいが、中身が伴っているか疑問です。B委員がおっしゃったように、延べ人数の増加だけでなく実人数の増加を考えれば事業の中身も変わってくるので、この辺の考え方が一步足りないと感じました。事業計画の実現性も、提案書には地域団体の名前が具体的に書かれていたので連携して色々な事が進めていけるなと思いましたが、具体的な地域連携の展望が感じられなかったです。効率的で質の高いサービスの提供については、スポーツを個人で楽しむ人もたくさんいますが、スポーツの楽しさの1つとして利用者同士の交流やコミュニティができるところもあるので、そういう点を事業計画の中身が魅力的であって欲しいと思いました。ただ新しい試みもやろうとしているのでサービス提供のプログラムとして期待感があります。施設の安全安心に対する考え方については、可能なことは全部考えてあり、適正な運営が可能と考えます。事業への意欲については、現状に甘んじていないということがよく感じられました。

G委員

今日の資料や1次審査の資料で記載されている内容は一定の水準をこえていると思います。聞きたい内容が時間内で聞くことができなかったことが点数に影響があったと思います。施設運営の考え方については、「する」・「みる」・「支える」といった区の計画や数値目標をこの時点で設定していること自体を高評価しています。事業計画の実現性については、実現性や実績、3社の体制、また責任者設定や業務フローの明確さを評価しました。効率的で質の高いサービスの提供については、本部経費の説明が充分でなかったという点と、幅広く提案されていますが、障害者スポーツについて具体的な説明や意欲が欲しかったです。施設の安全安心に対する考え方については、体制は整えられていますが、危機管理マニュアルの更新が社会情勢に応じてと回答があり、積極性が十分に感じられませんでした。事業への意欲については、一定の意気込みは感じましたが、「挑戦と創造」ということ具体性まで聞き取ることができなかったです。

F委員

提案内容全体を通してSDGsや区の計画・施策を踏まえた提案になっているところについては評価をしています。施設運営の考え方については、運営面についても緊急時に応援を行える体制になってところで安定的に運営できると評価しました。効率的で質の高いサービスの提供については、「その他経費」の積算の考え方について、必要経費であるという主張と受け止めたけども、指定管理費全体に対しては相対的に高いという印象が拭えなかったです。今後、削減に向けて努力していくというコメントがあったので期待したいです。事業への意欲については、的の得ない回答もあったため評価を低くしましたが、1次審査も通した全体として、施設運営サービスの提供とともに十分に合格点は超えていると思います。

E委員	質疑の中で聞きたいことと答えが噛み合っていない部分が見受けられたところがあり、スポーツ文化都市の部分や多様性については具体性に欠けていて、評価が低くなった項目もありますが、事業計画の実現性や施設の安全安心に対する考え方については、安心して任せられると評価しました。
A委員	基本的には全て合格点は超えている印象でした。しかし、皆さんも話しているように、言葉遣いと現実が一致していないところが幾つかありました。本部経費については、指定管理者として決定した後に、再度確認することが大事だと思います。
委員長	それでは各委員皆様の評価理由の説明を踏まえ、ご自身の採点について修正はありますか。 (委員一同、修正等なし)
委員長	議題3 港区立スポーツ施設指定管理者候補者の決定について 第1次審査と第2次審査の合計点数について事務局から説明してください。
事務局	第1次審査の得点1,090点、第2次審査の得点500点の合計は1,509点です。配点合計2,100点の76%の得点となっています。
委員長	集計結果について各委員から何かご意見がありましたら発言をお願いします。 (委員一同、異議なし)
委員長	それでは、指定管理者候補者の決定について審議します。応募事業者がA事業者のみであり、ただいまの事務局からの報告のとおり、得点率が選考の目安とする60%を超えていることや財務状況・資金計画分析でも高く評価されていることから、当選考委員会として令和6年度からの指定管理者として十分に適性があるものと考えられますので、A事業者を指定管理者候補者に決定するというところでよろしいでしょうか。 (委員一同、異議なし) 皆さんご異議ないようですので、指定管理者候補者はA事業者に決定いたします。
	3 その他 (事務局から今後のスケジュールについて説明)
	4 閉会

※委員長における質疑や講評等に関する発言について、「委員」として表記しています。